

広川町の学校教育

教育実践・教育論文表彰式

町民交流センター「いこっと」で2月21日(金)、広川町教育実践研究とふくおか教育論文で教育活動の充実・発展に寄与した教職員、町民が表彰されました。

● 広川町教育実践研究

広川町教育委員会は昨年10月、教育活動の充実や教



表彰を受ける丸山さん



実践結果を発表する黒木栄養教諭

育の振興発展に役立てるため、町内の皆さんから教育に関する実践結果を募集しました。

学校経営部門2点、食育指導部門1点、学習指導部門3点、現代的課題部門(一般)2点の応募があり、中広川小の黒木真海栄養教諭と一般部門の丸山繁高さんが優秀賞を受賞。表彰式では、黒木栄養教諭が「バラ

ンスのよい栄養摂取ができる児童の育成」について、「給食を残さず食べる児童が昨年より23%増加した。今後も偏食傾向がある児童への指導が必要である」と発表しました。

● ふくおか教育論文

福岡県教育委員会でも昨年4月、県内の教職員から「ふくおか教育論文」を募集しました。広川町からは図書館教育部門1点、学校教育部門3点、学校経営・運営部門2点の応募があり、上広川小の北島由紀教諭が佳作賞、中広川小の南嶋里子教諭が奨励賞を受賞。表彰式で、南筑後教育事務所から北島教諭へ表彰状が手渡されました。

審査結果は以下のとおりです。

令和元年度広川町教育実践研究の審査結果

	所属	氏名	主題
優秀賞	中広川小	黒木真海	バランスのよい栄養摂取ができる児童の育成
	一般	丸山繁高	広川町内の、地域・学校・家庭が連携することの重要性について
優良賞	上広川小	有働功一	人材育成を目指した組織運営の一方途
	下広川小	平川菜津美	解決の筋道を明らかにしていく子どもが育つ算数科学習
	一般	塩澄文子	多文化共生理解の重要性について
佳作賞	中広川小	波田悦子	「チーム学校」をめざした生徒指導体制づくり
	中広川小	堤真知子	考える力を育てる第2学年算数科「かけ算」の指導
	下広川小	佐藤琴子	自分の情報をはっきりともち、自信をもって伝え合うことができる子どもを育てる第四学年外国語活動の学習指導

令和元年度ふくおか教育論文への応募作

	所属	氏名	主題
佳作賞	上広川小	北島由紀	本に親しみ生活に活かす子どもの育成
奨励賞	中広川小	南嶋里子	楽しくコミュニケーションを図る子どもを育てる 外国語科学習指導
努力賞	中広川小	水町珠江	楽しく学び合う子どもを育てる学習指導
	中広川小	上森未来	よりよい人間関係を築く学級集団づくり
	中広川小	牛島遥	子どもの学習意欲を高める算数科学習指導
	下広川小	林麻子	望ましい食習慣を自ら身につける子どもを育てる 第3学年学習指導

教育実践・教育論文表彰式 学校運営協議会・教育力向上委員会

お問い合わせ

教育委員会事務局
学校教育係

☎0943-32-0093
内線 262・263

第4回学校運営協議会

2月12日(水)、本年度最後となる「広川町学校運営協議会」が開催され、広川町コミュニティ・スクールの教育活動について議論されました。

各学校は5つの視点(学力向上、道徳性の育成、体力の向上、いじめ・不登校の減少、家庭・地域との連携)から、現状と自己評価を報告しました。内容は以下のとおりです。



第4回学校運営協議会の様子



● 学力向上

各小学校とも学年差はあるが良好。中学校は県平均をわずかに下回っているの
で、朝活動を充実させる。

● 道徳性の育成

小中学校ともに道徳性は高まっている。あいさつの声も大きくなった。

● 体力の向上

各学校、新体力テストで課題となった種目を向上させるため、準備運動を工夫している。

● いじめ・不登校の減少

全ての学校でいじめを認知しており、早期解消に向けて取り組む。中広川小と広川中で不登校・不登校兆候の子どもがいるため、マンツーマンで対応し解消を図る。

● 家庭・地域との連携

コミュニティ・スクールの一環として教育週間に学校を開き、誰でも参観できるようにしている。参観者は年々増加している。

これらの報告に対し、委員からは次のような意見が
出ました。

- ・不登校対応に先生たちが奮闘していることを知っている。地域としてできることがあれば提示してほしい。
- ・教師が協力し合い、組織的な学校運営をさらに進めてほしい。
- ・就学前の子どもにも課題があるので、幼稚園・保育園と小学校の連携が大切である。

第3回教育力向上委員会

2月17日(月)、「教育力向上委員会」が開催され、子ども
の安全や基本的な生活習慣づくりについて学校、保護者、関係団体の代表で協議
されました。

● 基本的な生活習慣づくり

「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組みについては、おおむね良好である
・あいさつ運動が定着し、大きな声が出るようになった

● 子どもの安全確保

不審者情報が増え、その都度保護者へメール配信中
し注意を呼びかけた
・警察や地域の人に見守りをしてもらった
・地区懇談会で、通学路の危険箇所などを確認した

そのほか、八女警察署の伊藤係長から近隣の少年事件や事故状況について報告
されました。町内の小中学生に
関わる事案はほとんどないものの、全国的に急増
している情報機器を使用し
た犯罪や虐待について注意
が呼びかけられました。

LINEなどのSNSを介した事件や、虐待が全国的な問題となっている。そのような悩みを抱えている子どもが、この地域にもいるかもしれないことを知ってほしい。

これらの問題は早期発見・早期解決が大切であるが、学校や家庭では見つけにくい。特に情報機器の発達
は著しく、その範囲は町内どころか県外にも及んでいる。親が子どもの技術に追いついていない実態もある。

虐待やネットいじめを受けている人は、態度などに現れる。地域で気になる子どもを見つけたときには、学校や警察などに連絡してほしい。



八女警察署 伊藤係長